

5 健康・福祉・保育

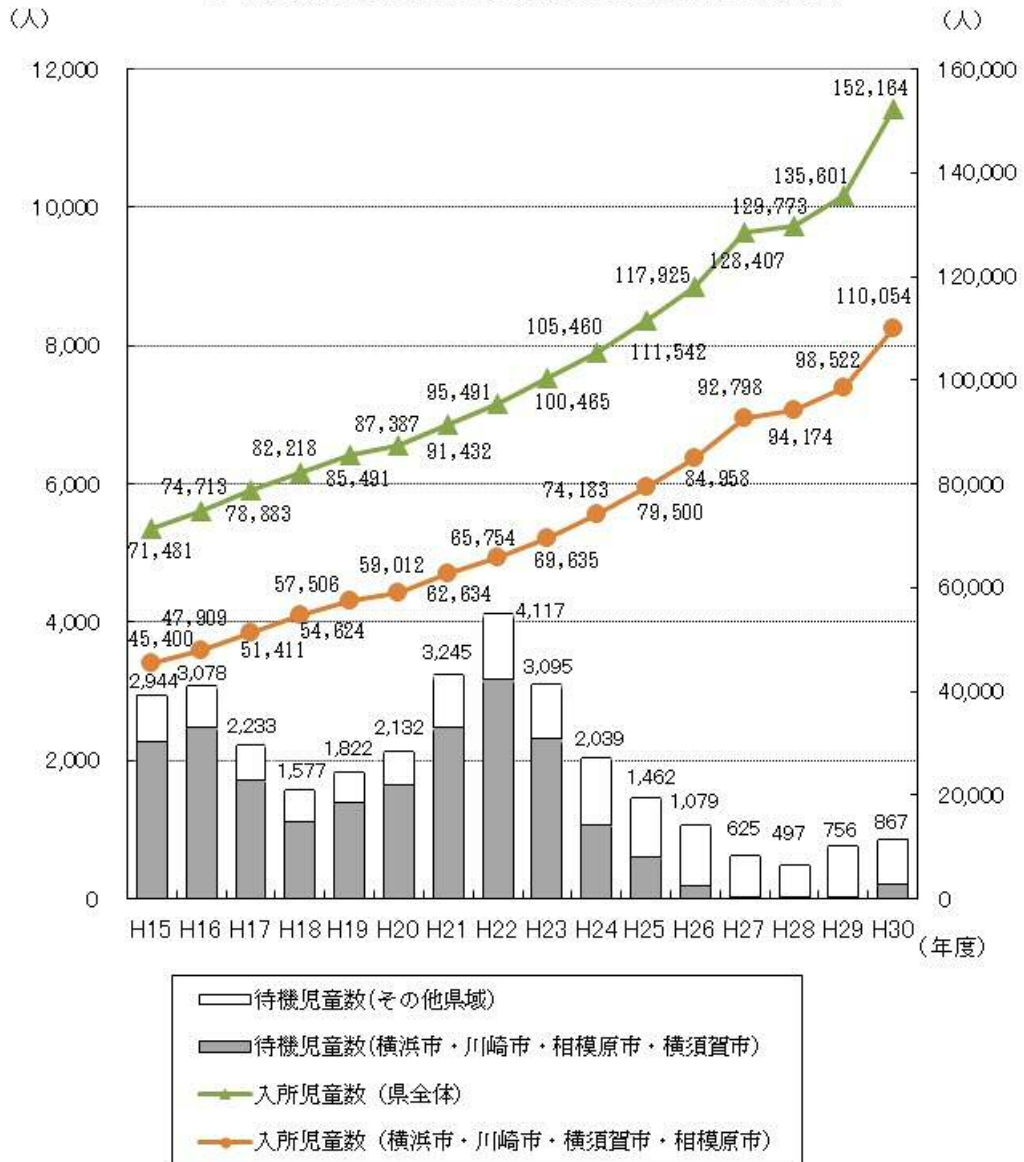
1 保育所入所児童数と保育所入所待機児童数

保育所入所待機児童数は、平成 23 年度から減少傾向にあったが、平成 29 年度以降は増加している。

保育所入所児童数は年々増加しており、平成 30 年度は県全体で 152,164 人と、前年より 16,563 人と大幅に増加しています。また、保育所入所待機児童数は、平成 23 年度から減少していましたが、平成 29 年度から再び増加に転じ、平成 30 年度は前年から 111 人増加し、867 人となっています。

グラフ 26

保育所入所児童数と保育所入所待機児童数(神奈川県)



(神奈川県福祉子どもみらい局調べより作成)

* 「保育所入所待機児童」とは、入所申込書が市町村に提出されており、入所要件に該当しているが、入所していない児童を指します。また、地方単独で支援している認定保育施設等に入所している待機児童や、入所可能な保育所があっても特定の保育所を希望し待機児童となっている児童を除いた数字となっています。

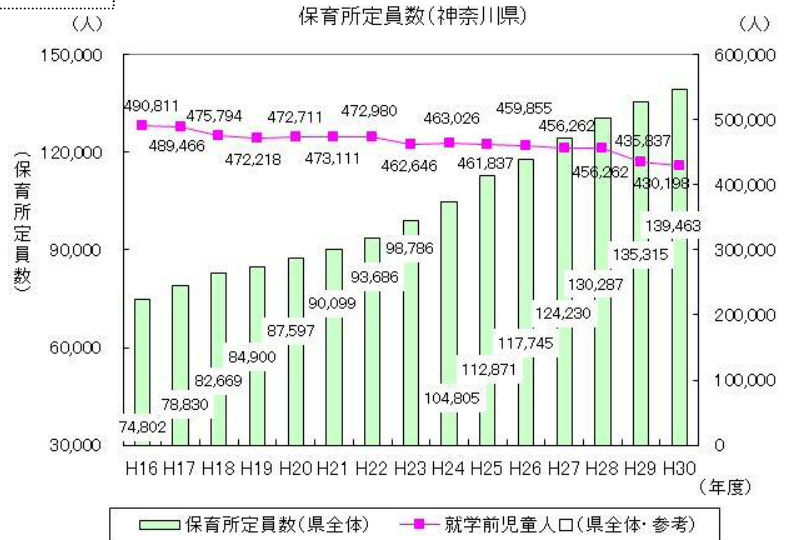
2 保育所定員数

就学前児童人口は減少傾向にあるが、神奈川県内の保育所定員数は年々増加している。

神奈川県内の保育所定員数は平成30年度で139,463人となっており、前年度から4,148人増加しています。

* 「就学前児童人口」は、「神奈川県年齢別人口統計調査結果報告」の0～5歳人口です。(各年1月1日時点)

グラフ27



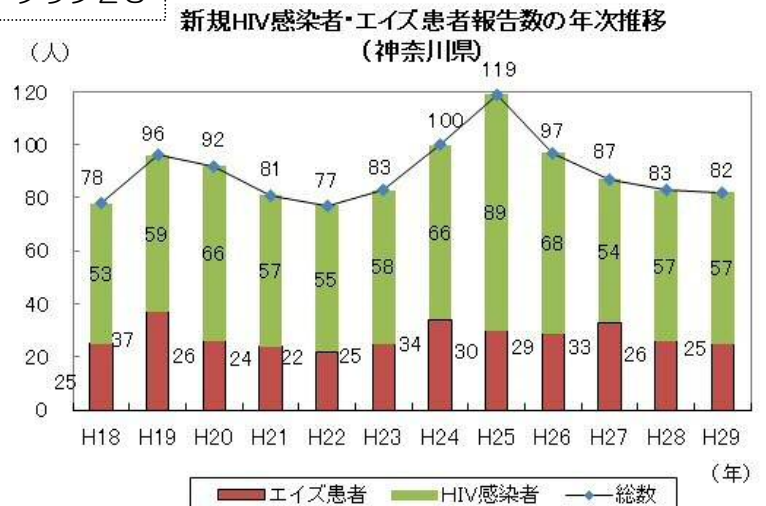
(神奈川県福祉子どもみらい局調べより作成)

3 HIV感染者・エイズ患者数

新規HIV感染者・エイズ患者報告数は、平成25年以降減少傾向にある。

神奈川県内で新たに報告されたHIV感染者・エイズ患者数は、年によってばらつきがありますが、平成29年は82人で、前年度から1人減少しています。また、そのうちエイズ患者数も、前年度より1人減の25人となっています。

グラフ28



(神奈川県健康医療局調べより作成)

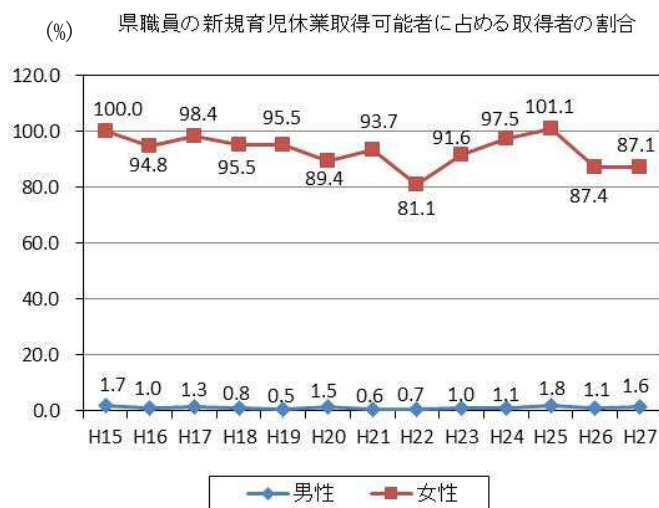
4 県職員の新規育児休業取得可能者に占める取得者の割合

神奈川県職員の新規育児休業取得割合は、女性は微減、男性は微増した。

神奈川県職員の新規育児休業取得可能者に占める取得者の割合は、平成 27 年度で女性が 87.1%と前年度から 0.3 ポイント減少しましたが、男性は 1.6%と 0.5 ポイント増加しています。

* 各年度における育児休業取得可能者ではなく、各年度において新たに育児休業取得可能となった者の人数を母数としているため、当該年度以前に育児休業取得可能となった者が新たに育児休業を取得した場合、100%を超える値（H25 年度）になる場合があります。

グラフ 29



(神奈川県人事委員会「人事に関する統計報告」より作成)